

4常任委員会連合審査会

平成29年8月28日（月）

午前10時07分～午後0時14分

議会大会議室

- 【出席委員】（総務委員会）山田誠一郎委員長、実松尊信副委員長、野中康弘委員、宮崎 健委員、久米勝博委員、池田正弘委員、重田音彦委員、武藤恭博委員
- （文教福祉委員会）重松 徹委員長、松永憲明副委員長、永渕史孝委員、村岡 卓委員、高柳茂樹委員、山口弘展委員、白倉和子委員、江頭弘美委員、福井章司委員
- （経済産業委員会）西岡義広委員長、川副龍之介副委員長、江原新子委員、川崎直幸委員、中野茂康委員、山下明子委員、堤 正之委員、平原嘉徳委員、松尾和男委員
- （建設環境委員会）野中宣明委員長、松永幹哉副委員長、山下伸二委員、中山重俊委員、川原田裕明委員、千綿正明委員、嘉村弘和委員、黒田利人委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】関係職員

【案 件】

・付託議案について

○山田総務委員長

おはようございます。皆様おそろいようですので、ただいまから第54号議案 平成28年度佐賀市一般会計歳入歳出決算のうち、歳入全款について、4常任委員会による連合審査会を開催いたします。

それでは、決算審査に入る前に、秀島市長がお見えですので、御挨拶をお願いいたします。

○秀島市長

おはようございます。平成28年度の一般会計・特別会計、そして企業会計の決算の認定につきましては、御審議をお願いすることになりましたので、御挨拶を申し上げさせていただきます。

平成28年度の主な決算状況を見てみますと、まず、一般会計の歳入につきましては、緩やかな景気回復による給与所得の増などによりまして、市税収入が平成20年度以来久しぶりに、300億円を超えております。

一方、歳出につきましては、小・中学校校舎の大規模改造及び空調整備事業、バルーンミュージアム整備事業、本庁舎増築事業といった大型事業の進捗、それから障害者福祉費の認定こども園施設型給付費などの増による扶助費の増加などが特徴として上げられます。

これらによりまして歳入総額は約989億円、歳出総額は約966億円となり、これから翌年度へ繰り越すべき財源として約9億円を除いた実質収支は約14億円の黒字となっております。

次に、特別会計のうち、国民健康保険特別会計につきましては、歳入総額は約313億円、歳出総額は約332億円となり、収支不足額の約19億円につきましては、平成29年度の歳入を繰り上げてこれを充てております。

次に、企業会計でございますが、富士大和温泉病院事業会計につきましては、平成22年度以降6年連続で黒字決算でございましたが、患者数の減などによりまして、平成28年度は事業収支で約470万円の損失を計上するに至っております。地域住民の皆様にご愛され、信頼される病院であることを念頭に、これまで以上に経営健全化と地域医療の向上に努めてまいります。

最後に、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率につきましましては、全ての指標において健全化基準以下となっております。これから平成28年度の決算を御審議いただきますが、審議の際にいただく御意見につきましては、今後の市政運営に反映してまいりたいと考えております。

以上、よろしく御審議をお願い申し上げます。

○山田総務委員長

ありがとうございました。

続いて、平成28年度佐賀市決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について報告をお願いいたします。

◎平成28年度佐賀市決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率 説明

○山田総務委員長

ただいま報告を受けましたが、この件についてはよろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、秀島市長は公務の予定があるということですので、ここで退室していただいて結構でございます。お疲れさまでございます。

◎市長退室

○山田総務委員長

それでは次に、本日の審査日程について、お手元の次第にお示ししている審査日程案を進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議ないようですので、この審査日程どおり審査したいと思います。

それでは、審査に入ります前に注意していただきたい点を幾つか申し上げます。

発言される場合は、必ず挙手をして、指名をされてからマイクを御使用の上、発言してください。

執行部におかれましては、委員会は限られた時間で集中的な審査が必要でございます。よって簡潔な説明を心がけてください。なお、決算額の数字の読み上げは必要ありません。また、答弁は役職にかかわらず、質問に対して回答できる方がされるようお願いいたします。

次に、委員の皆様申し上げます。質疑につきましては、決算の歳入ですので、その範囲内でお願いをいたします。特に市政一般や予算に関する質問にならないよう、よろしくをお願いいたします。それから、多岐にわたる質疑をお持ちだと思いますが、一度にたくさん質疑をされますと、答弁がわかりにくくなります。質疑の該当資料のページ及び項目等をお示しいただいた上で、1回につき1問に絞って質疑をしていただきたいと思います。

なお、決算の概要については、お手元に平成28年度佐賀市歳入歳出決算概要を配付しておりますので、御確認をお願いいたします。

それでは、審査に入ります。

まず、歳入第1款から第11款までについて、執行部の説明を求めます。

◎第54号議案 平成28年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入第1款～第11款 説明

○山田総務委員長

執行部から説明がありましたが、委員の皆様のお質疑をお受けいたします。質疑のある方は挙手をお願いいたします。

○千綿委員

資料ナンバー19の52ページの新築着工の件数を教えていただきたい。たしか平成26年は過去最高だと言われていたと思うんですが、それを超してまた最高になっているのかどうかだけちょっと確認をお願いしたいんですが。

○杉町資産税課長

この件数ですけれども、新築のほうは1,100棟になっております。これは増築も含めての件数になります。前年度が1,230棟でしたので、若干件数としては下がっております。

○山下明子委員

20番の資料の決算資料の収入未済額のところでの説明で、収入未済額に対応するためには差し押さえ等頑張っていくということだったんですが、ちょっとその件数ですね、平成28年度の差し押さえの件数と、そこら辺の状況もお願いいたします。

○小林納税課長

平成28年度の差し押さえ件数ですが、3,822件で、昨年が4,752件でしたので、930件少なくなっております。以上です。

○山下明子委員

それは全体としてそうすべき対象が減っているということになっているのか、その辺は
どういう状況か、もうちょっとお願いします。対応の変化とか、そういうこともあってい
るのかどうかも含めてお願いします。

○小林納税課長

差し押さえ件数が減ったことについては、正確なことまでちょっとわかりませんが、昨
年、差し押さえの予告書を送りましたけれども、その際に、非常にわかりやすく目立つよ
うな色で送りました。そのときは、10日間、収納の対応をしているんですが、約1,000件
ほど多く窓口で納付に来られたりして、そういった結果が差し押さえによらず自主納付で
ふえてきたというふうに考えております。以上です。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようでございますので、次に、歳入第12款から第15款までについて、執行部の説明
を求めます。

◎第54号議案 平成28年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入第12款～第15款 説明

○山田総務委員長

執行部から説明がありました。委員の皆様は御質疑をお受けいたします。質問のある
方、挙手をお願いします。

○千綿委員

1点だけですが、15ページ、火葬場の件数が3,104件ということだったんですが、過去5
年ぐらいの市内と市外の扱う件数とかをわかったらデータで欲しいんですけど、それと、
実際その3,104件という大体1日9件とか8件ぐらいのレベルになるんですが、稼働率とい
うのは1日マックスどのくらいで、フル稼働したときに何件ぐらいの処理ができるのかと
いう部分をちょっと教えていただけますか。

○山田総務委員長

これは今即答できますか。

○今井市民生活部副部長兼市民生活課長

データとおっしゃったのは資料で請求ということでしょうか。それは準備させていただきます。

○山田総務委員長

これはきょうじゅうによろしいでしょうか、資料は。

資料は終わるときに提出できますか。

○今井市民生活部副部長兼市民生活課長

きょうじゅうに、委員会が終わるまでに提出したいと思います。

○山田総務委員長

はい、よろしく申し上げます。

それともう一件の質問に対して、今、答弁できますか。稼働率。

○今井市民生活部副部長兼市民生活課長

稼働率については、ちょっと調べさせていただいて回答させてもらってよろしいでしょうか。

○山田総務委員長

はい、それでは、調べておいてください。

○白倉委員

2件あります。27ページです。戸籍住民基本台帳費国庫補助金ですけれども、個人カード交付事務費補助金というのが出ているんですけれども、これは実際に交付した件数に対する、実績に対する補助金なのかどうかというふうな部分と、それと件数をお願いします。

それと、さかのぼりまして17ページのバルーンミュージアムなんですが、これが10月から3月ということで、ミュージアムの駐車料の金額が上がっておりますが、利用者以外にとめられている分なんですかね。利用者はパスカードとかいろんな部分が出ますが、この管理は——商工ビルなんかは別の会社が管理していますね。この駐車場に関しては、市の管理だと私は思っていたんですが、どういうふうなシステムでこの駐車料は算定されて入ってくるのでしょうか。お願いします。

○古賀観光振興課長

バルーンミュージアムの駐車場の使用料についてお答えいたします。

この駐車場ですけれども、市が管理しておりまして、委託をしております。使用料ですけれども、30分100円ということで、これは近隣の駐車場の金額に合わせて、30分100円にしております。ただし、有料の入館をされた方とかは、2時間の無料化を行っております。また、ショップとかで買い物をされた方につきましても、無料券を配布したりしております。

こちらに今上がっております収入につきましては、それ以外のお客様が利用された分、現金で精算をされた分ということになっております。以上でございます。

○山田総務委員長

最初の1点目の質問に対して。

○今井市民生活部副部長兼市民生活課長

先ほどマイナンバー交付事業の補助金の話でございますが、これにつきましては、歳出のほうでマイナンバーカードを交付する際の事務経費がありまして、その分をJ-LISのほうに交付するわけですが、10分の10の補助率になっておりまして、その分の補助になります。

○山田総務委員長

先ほどの千綿委員の質問に対して、稼働率に関してもペーパーでお渡しいただけるんで

すかね。ここで答弁できるのか。

○今井市民生活部副部長兼市民生活課長

稼働率については、一緒に資料のほうがよろしいでしょうか。

ちょっと調べまして、稼働率については回答したいと思います。

○山田総務委員長

では、一緒にペーパーでお願いいたします。

○今井市民生活部副部長兼市民生活部長

はい、わかりました。

(発言する者あり)

○山田総務委員長

千綿委員、どうですか。一緒にがいいですか。

(発言する者あり)

答えられるんだったら御答弁お願いいたします。後ですか。では、後で御答弁お願いいたします。

ほかにございませんか。

○山下明子委員

13ページの児童福祉費負担金の説明のところ、私立保育園分と市立の保育所分の説明の中で、負担の軽減措置のために減った分というのは理解できたんですが、市立の保育所のところで、4カ所394人という数字を言われて、その軽減分と合わせて、入所児童数の減ということをちょっと言われたように私メモしているんですが、これ前年に比べてどう減っているのかということと、じゃあ待機児童の関係はどうなっているのかなというのがちょっとひっかかったんですが、その辺どういう状況なんでしょうか。

○山田総務委員長

今わからなかったら、後で調べていただいて結構ですよ。

○成富子育て支援部副部長兼保育幼稚園課長

済みません、資料がちょっと飛んでしまっておりますが、前年度末443人で、今年度末が394人になっております。

あと、保育料の負担軽減措置ということで、多子世帯の分の減額があった分が影響していることと、先ほど申しました入所児童数が前年度末で443人あったものが394人に減ったということが大きな要因と考えております。

待機児童の関係でいきますと、結果として入所児童が少なかったということで、保育士の数を確保できなかったということで、入所が十分に行えずに入所者が少なくなりましたということでもあります。

○山下明子委員

前年度末が443人、平成28年度末が394人ということで、50人ぐらい少ないというのは、

結局措置できなかったということですかね。表現としては、正確には、保育士の確保ができなくて、措置できなかったということですか。

○成富子育て支援部副部長兼保育幼稚園課長

保育士の確保ができずに受け入れができなかったという結果かと思います。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

先ほどの千綿委員の質問に御答弁できますか。稼働率について。まだですね。

ほかにも御質問ございませんか。

○今井市民生活部副部長兼市民生活課長

先ほどの千綿委員からの質問に対しては、まだ今調べていまして、回答が少しおくれますので、資料と一緒にあわせて出す形でもよろしいでしょうか。

○山田総務委員長

では、そのようにお願いいたします。

○山下明子委員

済みません。ちょっとさっきの私立保育園のほうも同じようなことで措置できないということが起きているのかどうかについてはつかんでおられるのでしょうか。

○成富子育て支援部副部長兼保育幼稚園課長

直接保育士が不足しているので受け入れられないということがあった事実は確認はとれておりませんが、ゼロ歳、1歳、2歳については幾らか受け入れ切れないということでも入れない部分もあろうかと思いますが。3歳児、4歳児、5歳児の受け入れで、全体としては100%入れているような形になっておりますけれども、中身を見た場合には幾らかそういった保育士の不足というものは影響しているようでございます。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ないようでございますので、最後に、歳入第16款から第21款までについて、執行部の説明を求めます。

◎第54号議案 平成28年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入第16款～第21款 説明

○山田総務委員長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けいたします。

○松永憲明委員

説明はなかったんですけども、61ページの教育総務費の受託事業収入で研究指定校運営受託事業収入130万円ほどなんですけれども、この中身はどういったものなんですか。

○山田総務委員長

御答弁できますか。

そしたら、この答弁については調べておいてください。

ほかに。

○白倉委員

65ページ、生活保護費返還金、5,397万幾らか出ているんですが、いつも返還金というのは、決算でいつも出てくるんですけども、説明の中に、年金を受けられる方をいろいろ指導して理解を得て生活保護のほうを返還してもらったという件数がかなり多かったんですが、ちょっとその辺の実情といいますか、例えば、年金をもらうよりも生活保護をもらったほうが、実際には楽だとかいろんな風潮があるんですね。その辺の指導等々も含めて例年と比べてどんなふうだったのかというのをちょっと御説明いただけますか。

○土井生活福祉課長

生活保護費の返還金についてでございますが、先ほども御説明しましたとおり、年金の資格がある方が生活保護を受給されていて、それで、実際受け取ることができるのに、本人が手続を怠っていたと、そういうようなケース等がやはり多くて、そういったことで遡及して年金を取得できる方につきましては、ケースワーカー等も訪問して指導をいたしまして、そして年金を受給していただきまして、生活保護費の支給した総額の範囲内、それを越えた分についてはできませんので、その分につきましては年金を返還してもらおうということでございます。

○白倉委員

それは、忘れていてというか、意図的に怠っていたとか、そのあたりと、それといつもの決算のときと比べてどんなふうな、そういった事例が多かった少なかったも含めて、そこまで説明ください。

○土井生活福祉課長

その手続を怠っていたということで、63条になるんですが、そのことを知っていて、実際に受給していたとかいうことになると、78条徴収金のほうになります。

それと、あと前年度に比較しまして、返還金徴収金につきましては約1,500万円の減となっております。これは、やはり被保護者の方が受給されている年金収入等をきちっと申告をされた結果、これだけ減ったものだと思っております。以上です。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

○中村学校教育部副理事兼学校教育課長

申しわけございません。松永憲明委員の研究指定校のことについて御説明いたします。

これは国の指定、それから県の指定、そして市の指定で行ったものでございます。東与賀小、思斉小、城西中、思斉中、久保泉小、若楠小、芙蓉小・中、諸富北小、諸富南小、諸富中、成章中で研究指定をした、そのための費用が国または県から入ってきたものでございます。以上でございます。

○山田総務委員長

よろしいですか。

○中山委員

55ページの4目の合併振興基金の元金はどれぐらいあるんですか。

それと、その下にありますふるさと福祉基金、これはどれぐらいあるんでしょうか。

○村上行政経営課長

まず、合併振興基金ですが、元金は40億円でございます。

それと、ふるさとづくり基金の今現在の残高が4億円ほどとなっております。済みません。ふるさとづくり基金のほうは4億1,500万円ほどとなっております。以上です。

○中山委員

私はその部分は聞いてなくて、地域福祉基金はどうですか。

○牧瀬保健福祉部副部長兼福祉総務課長

地域福祉基金は約18億7,000万円になります。以上でございます。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

○山下明子委員

小さい数字ですが、説明はなかったんですが、51ページ、一番下の防災ラジオの売り払い代金が9万9,000円ということで、多分8台か9台分だと思うんですが、どういう売り方、えびすFMに置いてあったりとかかされているようなんですが、その普及の状況だとか、めどとしてどれぐらいを思っておられて、こういうことになっているかとか、前年に比べてどうかというのがありましたら、御説明ください。

○片渕消防防災課長

この収入につきましては、9万9,000円となっておりますが、販売の実績といたしましては、避難行動要支援者用ということで販売いたしており、33台分となっております。これまで平成26年度から販売をいたしておりまして、実績といたしましては、平成26年度69台、平成27年度101台、平成28年度33台、計203台の販売実績となっております。以上でございます。

○山下明子委員

最初1台1万円ぐらいの説明だったと思ったんですが、この収入は、要するに売った収入で9万9,000円で30台ということなんですかね。

それで、いわゆる一般の人たちはどれぐらい買っておられるかとかわかりますか。

○片渕消防防災課長

販売の金額なんですが、一般用ということでは1万円で販売をいたしております。要避難行動支援者ということでは、1台3,000円ということで販売をいたしております。

○山田総務委員長

ほかにございませつか。

○池田委員

71ページの真ん中、予防接種事故賠償補償保険金2,800万円ですけど、副反応の賠償だということでもありますけど、どういった内容、事案なのか、わかりますか。

○大城保健福祉部理事兼健康づくり課長

この予防接種の賠償補償につきましては、子宮頸がんの予防ワクチンによって副反応が出た方ということで、佐賀市のほうが平成23年7月からこの予防接種を始めております。それで、国のほうの予防接種になったのが平成25年からで、平成25年6月には副反応の関係もあったので、積極的な勧奨はもうやめてくださいということで、国のほうから言われております。それ以降は、本人が予防接種を受けたいという方のみ摂取を受けられておりますけれども、この方は、当時中学3年生のときに、平成24年に受けられて、症状としては日光過敏とか、トイレまで立っていくこともできないというような状況でありまして、こういったところで、最終的に平成28年11月にこれが認定されまして、この補助金の額を佐賀市の予防接種事故災害補償規則に基づいて支出をしたところです。この金額については、先ほど申し上げましたように、損保ジャパンのほうから補填金という形で歳入として受け入れをしております。以上です。

○中野委員

55ページです。一番下、土井旗・土井杯争奪柔剣道大会、合併時の基金で行われておりますが、あとの残金がどれくらいあるかわかりますか。

○大久保財政課長

残りは350万円ほどとなっております。

○山田総務委員長

よろしいですか。ほかにございませつか。

○山下明子委員

65ページの真ん中から下ですが、清掃工場の分離回収二酸化炭素販売収入ですが、この24万8,000円というのは大体見込みどおりということなんでしょうか。事業者というのは大きいところで事業者幾つとか、そういうことなのか。ボンベだとか農業用ハウスだとか、そういうことも話にあったと思うんですが、そういうことも含まれてのことなんでしょうか。

○本山環境部理事兼バイオマス産業都市推進課長

二酸化炭素の分離回収の販売収入になりますが、今回、二酸化炭素は清掃工場から直接パイプラインで事業者に送った分の販売収入ということになります。見込みに対しては、かなり少額ということになります。

○山下明子委員

具体的には見込みに対して少額という、その中身とその理由も御説明ください。

○本山環境部理事兼バイオマス産業都市推進課長

実際は当初予算としては764万4,000円ほど見込んでおりました。今回の販売収入がそのうちの約3%程度ということになります。当初予算の段階では、8月から販売を見込んでおりましたが、施設の完成というのが8月の末になりました。事業者の事業開始が10月ということになりました。

今回、清掃工場のほうから二酸化炭素を取り出して販売というのは、世界で初めてであります。このため、事業者のほうから、安全、安心で使うためのしっかりした成分分析のデータが欲しいということと、もう一つは事業者側でも藻類を培養する上で、二酸化炭素を使って藻類の成分上、問題がないかどうかのしっかりとした分析をやりたいというお話がありました。さらには、その後11月に清掃工場の定期修理が入りましたので、1カ月ほど二酸化炭素の供給ができなかったということになります。

今回販売する二酸化炭素成分分析の項目とか、さらには品質管理の協議も行いながら、12月末に業者のほうと合意をして契約を結んだということで、8月から見込んだのが、実績の販売が1月からということになりまして、その分が一つの要因になります。

もう一つは、今回、冬場の生産ということで、藻類培養の事業者にお話を聞いたら、本来のこの技術というのが、アメリカで使われた技術になりますので、アメリカとの環境の違いということで、佐賀の地でしっかりと藻類培養が可能かどうかということでの実証を中心に行ったということで、そういう意味での使用料が少なかったというお話は聞いております。以上です。

○山下明子委員

そういうのをしっかり説明をしていただきたいですね。見込みの3%といたら普通は大きい話ですので、24万8,000円だというだけでは全然見えてこない話なので、一応そういうことはきちんと説明をしていただきたいと思います。

もう一つ最後に聞きたいのは、71ページの上から2つ目と3つ目の、要するに宝くじなんですけど、オータムジャンボとサマージャンボ、説明された方が違っていたんですが、これは何かオータムとサマーで所管が違うということなんですか。そこをちょっとお願いします。

○大久保財政課長

オータムジャンボ宝くじにつきましては、国際交流に関する経費に充てておりますので、総務法制課のほうで所管をしております。サマージャンボにつきましては、単純に一般財源ということになりますので、財政課のほうで説明をいたしました。以上でございます。

○山田総務委員長

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、先ほど千綿委員のほうから資料請求がございましたけれども、その件につい

て、はい、どうぞ。

○今井市民生活部副部長兼市民生活課長

大変申しわけません。午前中にちょっと間に合わなかったものですから、本日中に議会議案に提出するという点でよろしいでしょうか。

○山田総務委員長

この連合審査までに提出できないということなので、皆様の棚入れということでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

はい、ではそのようにお願いいたします。

それでは、以上で第54号議案のうち歳入全款に関する審査を終了いたします。

執行部の皆様は御退室いただいて結構でございます。

◎執行部退室

○山田総務委員長

なお、本日の審査に伴う主な質疑、意見等は必要に応じて総務委員会の審査報告の中で補足して口頭報告を行うことになっております。

口頭報告に関して、御意見等ありましたらお願いいたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、あとは総務委員会の正副委員長で調整させていただきたいと思っておりますので、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

この後の各常任委員会に関しましては、13時15分からということで統一させてもらってよろしいでしょうか。

○西岡委員

経済産業委員会は、済みません、いろいろ御事情もある委員もおられますので、休み時間をちょっとカットさせていただいて、1時開会でいかがかというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○山田総務委員長

ほかの委員会に関しましては、13時15分からということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、以上で4常任委員会の連合審査を閉会いたします。お疲れさまでした。